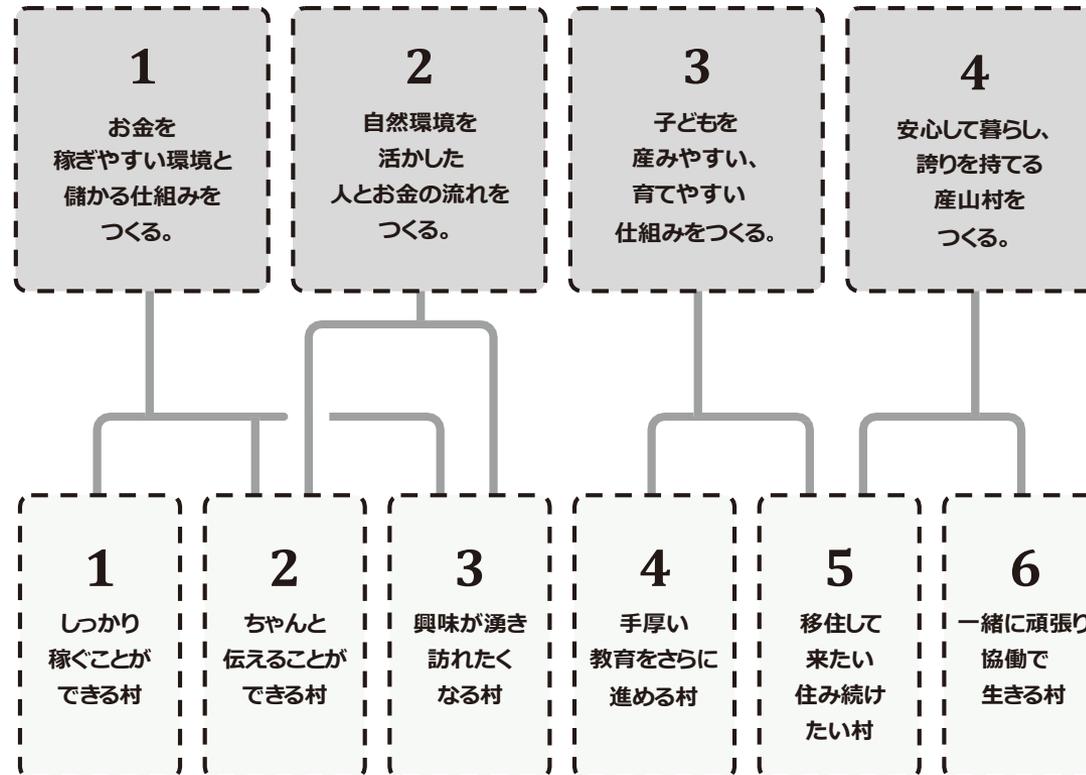


2020年宣言

稼 ぎ 上 手 、 伝 え 上 手 、  
暮 ら し 上 手 の 村 に な る

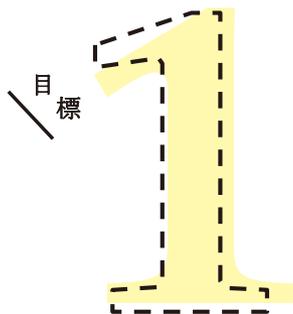
基本目標



戦 略

## 基本目標

---



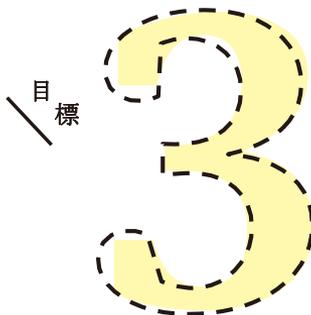
お金を稼ぎやすい環境と  
儲かる仕組みをつくる。

農業、林業、商業、観光。なにをやるにしても、その商品やサービスが、消費者に支持されなければなりません。デザインなどを積極的に導入して、儲かる仕組みを定着させます。



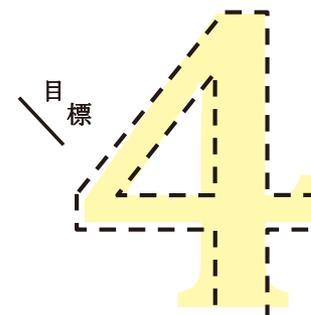
自然環境を活かした  
人とお金の流れをつくる。

水に恵まれ、大地に恵まれた産山村。自然環境とそこから生まれる商品やサービスを主軸に産山ブランドの構築をめざします。並行して観光を商品化し、産物と環境アピールの相乗効果を図ります。



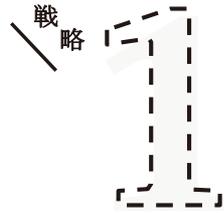
子どもを産みやすい、  
育てやすい仕組みをつくる。

英語教育、国際交流など、すでに活発な教育スタンスに加え、地理的ハンデを解消するオンライン教育への積極的取組みを加速させます。それと同時に、産山ファンの来村、滞在機会を増やし、オンラインの弱点を、現実体験で補完します。



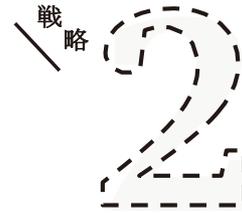
安心して暮らし、誇りを  
持てる産山村をつくる。

災害に強く、健康で、美しい村をめざし、産業をつくり、文化を磨き、住みたくなる村、住み続けたい村をつくる仕掛けを考えます。定住者が増えれば、知恵が出て、熱量が上がり、状況が変わります。他の目標との相乗効果、好循環を意識します。



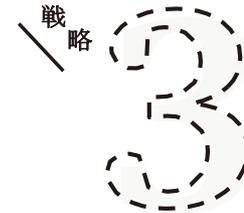
しっかりと稼ぐ  
ことができる村

農産物、加工品、ツアー  
まで、デザインなどを導  
入し、その換金物を磨  
き、産み出します。



ちゃんと伝える  
ことができる村

現代社会において、広報  
力の弱さは致命的です。  
広報戦略において質と  
量の向上をめざします。

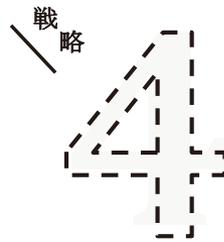


興味が湧き  
訪れたい村

産山村にしかない知的体  
験型のメニューを開発し、  
ライバルのいない独自の  
土俵で、上質のファン獲  
得に努めます。

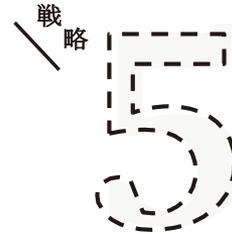
## 戦 略

---



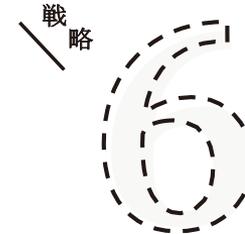
手厚い教育を  
さらに進める村

自信に溢れた子供たちが  
育つ村は、村全体が誇りに  
満ちて、観光促進の面でも  
移住・定住促進の面でも有  
利になります。



移住して来たい  
住み続けたい村

楽しそうに稼ぎ、老若男  
女の笑顔が多い場所に  
人は惹き付けられます。  
移住促進は、村が元気  
であれば、自動的に促  
進されます。



一緒に頑張り  
協働で生きる村

行政だけ、住民だけでや  
れることには限界があり  
ます。双方が手をつなぎ、  
知恵を出し合う協働にこ  
そ大きな可能性が宿っ  
ています。

## 施 策

1

しっかり  
稼ぐことが  
できる村

新規就農を受け入れるために  
持続可能な農業を確立するために  
農林業所得の向上を図るために  
草地を有効活用するために  
観光、商業、産業の発展を支援するために

4

手厚い  
教育をさらに  
進める村

0歳～15歳までの一貫教育を推進するために  
世界で活躍する人材を育てるために

2

ちゃんと  
伝えることが  
できる村

産山の知名度向上のために  
知らせ、伝える力を高めるために

5

移住して  
来たい  
住み続け  
たい村

村外からの子どもを積極的に受け入れるために  
移住定住がしやすい村であるために  
ときめく出会いの場をつくるために  
産みやすい育てやすい村にするために  
医療や介護を行いやすい体制をつくるために  
住民の暮らしと安全をサポートするために  
環境にやさしい循環型の社会をつくるために  
災害に強い地域をつくるために

3

興味が湧き  
訪れたく  
なる村

産山らしいブランドづくりのために  
観光客が訪れやすい村にするために

6

一緒に頑張り  
協働で  
生きる村

自然景観を守り、継承するために  
学び続ける産山村であるために  
高齢者の暮らしを支えるために  
健康長寿に向けた取組みを推進するために  
障がいのある方々の福祉充実のために  
住民の移動手段を確保するために  
村の拠点とコミュニティをつくるために